

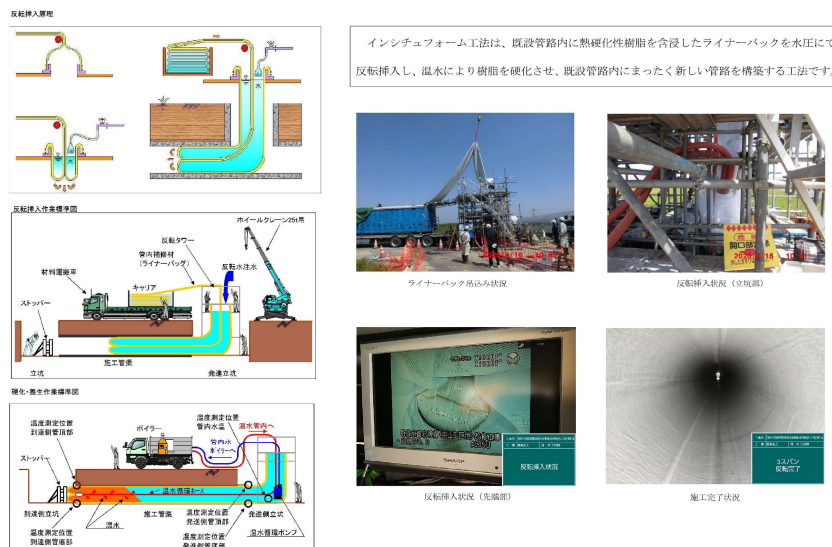
<工事>

受注者名	工事名 (施工場所)	受賞理由
(株)竹中土木 九州支店	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 幹線水路岩神線（久末工区他）改修工事 (福岡県柳川市三橋町久末及び中山地内)	本工事は、地域の営農用水に支障が無いように通水停止期間中に掘削工、土留工、管更生工、付帯工等の施工を完了し、充水作業迄終えなければならず、工程管理、安全管理に特段の留意を払う工事であった。
概 要		① 工程管理の工夫 本工事にて使用する反転工法の資材は、アメリカ全土での大寒波の襲来及びロサンゼルス港での新型コロナクラスターの発生に伴い、輸入調達が困難となる中、迅速に輸送方法の変更手配（船便より航空便へ変更）を対応し、遅延を最小限にするとともに、年度ごとの施工区間の調整を行い、最終年度の通水停止期限の5月末までに全工区の施工を完了させた。
本工事は、国営筑後川下流福岡土地改良事業計画に基づき幹線水路岩神線（久末工区他）の改修を3ヶ年度（R2～R4）で行う国債工事である。 （主要工事） 水路延長 L=969.95m 内訳 管路更生工（鞘管工） L=323.25m 鞘管工 鋼管（STW400t=7mm）φ1,200mm 管路更生工（反転工） L=646.70m 反転工 t=14.3mm（既設管FRPM φ1,350mm） 反転工 t=17.3mm（既設管FRPM φ1,350mm） （工 期） 令和2年12月10日～令和4年8月1日 （請負金額） 1,019,040千円		② 安全対策の検討 本工事にて実施した仮設土留工（立坑）について、当初想定していた土質、地下水位と相違があり盤ぶくれが想定されたため、盤ぶくれ防止対策を確実にし、限られた期間の中で安全な施工に努め工事を完成させた。
		③ 事業PR活動 事業のPR及び幹線水路岩神線改修工事の実施状況を見学してもらう「現地見学会」を開催し、地元区長及び土地改良区関係者などが参加し、事業、工事への理解とPRを図った。
		以上のとおり、本工事は工程管理及び安全管理にその成果が特に優秀で、他の模範となるものである。

【施工状況等】 ■ 管路更生工法 鞘管工法（パイプインパイプ工法）



■ 反転工法（インシチュフォーム工法）



<工事>

受注者	工事名 (実施場所)	受賞理由
(株)峰山建設	令和3年度喜界島農業水利事業 川嶺支線水路工事 (鹿児島県大島郡喜界町大字川嶺及び 浦原地内)	本地区は、既設の国営用水管を利用した営農が行われており、 新設の用水管等への切替施工に係る断水期間に制限があり、施工 箇所である道路下には埋設位置が不明瞭な農業用水管等が多く試 掘調査により埋設位置を確認しながらの施工が必要で、工程管理 や施工管理に苦慮する工事であった。
概 要		①工程管理 施工期間中、既設の国営用水管の2箇所で老朽化による漏水事 故が発生したが、迅速に施設管理者である土地改良区等との連 絡・調整及び資材調達等を行い、1箇所当たり7日間で復旧作業 を終え、耕作者等からの苦情もなく、通水を再開させることがで きた。
本工事は、国営喜界島農業水利事業の一環として川嶺支線水 路の更新工事を行うものである。 (主要工事) 水路延長 L=1,171.87m 施工区間 No.0 -0.52~No.11+71.52 内訳 管水路 L=1,171.87m SL=1,184.48m 硬質ポリ塩化ビニル管VH φ250mm SL=1,082.56m ダクタイル鋳鉄管 3種 φ250mm SL= 101.92m 分水工 2箇所 制水弁工 2箇所 空気弁工 10箇所 排泥工 6箇所 水路横断工 6箇所 (工期) 令和4年8月1日~令和5年3月16日 (請負金額) 111,300千円		②安全対策の提案 本工事の施工区間内には、横断する既設の県営用水管が多数埋 設されており、試掘による位置確認を慎重に行い、施工に支障と なることが想定された時は、積極的に対策工の提案を行い、安全 に施設を完成させた。また、自社による安全パトロール(毎月) の実施やダンプトラック荷台に過積載防止ラインを表示するなど の安全対策に努めていた。
		以上のとおり、本工事は、工程管理及び安全対策が特に優秀 で、他の模範となるものである。

【施工状況等】

標準断面図

埋設表示テープ B=150

砂基礎 (S7相道)

水路横断工

川嶺支線水路工事 L=1,171.87m

分水工切替部

終点切替部

排泥工切替部

既設県営用水管横断箇所

既設国営用水管

既設県営用水管試掘確認

管布設

水路横断工 型枠・配筋

地元関係者への工事説明

<工事>

受注者名	工事名 (施工場所)	受賞理由
牟田建設（株）	令和3年度筑後川下流右岸農地防災事業 城西3号線（本庄工区）工事 （佐賀県佐賀市本庄大字本庄内他）	本工事は、護岸面積が5,675㎡と広く、軟弱地盤の改良も伴う工事であり、排水機能を持つ農業用水路であるため、天候及び水路水位状況を監視しながら施工しなければならない工事であった。
概 要 本工事は、筑後川下流右岸土地改良事業計画に基づき、クリーク法面の整備を実施するものである。 （主要工事） 施工延長 L=793.90m 始点：No. 0+0.00m、終点：No. 15+43.90m 護岸延長 左岸：754.80m、右岸：745.30m 内 訳 ブロックマット工 A=5,675 ㎡ 附帯工 1式 （工 期） 令和4年9月8日～令和5年3月17日 （請負金額） 227,777千円		①施工管理の工夫 地盤改良の施工は、従来、丁張を設置し目視による改良深度管理を行うが、レーザーセンサーを用い計画改良底まで攪拌することで、改良深度管理の精度を高くし、品質向上を図った。 ②安全管理の工夫 本工事では、ブロックマット等の吊荷作業中の接触事故・落下事故の危険回避に玉掛警報器を使用し、聴覚からも危険を察知できるようにし、安全に留意し無事故で作業を終えた。 ③ホテイアオイの流入防止対策 隣接水路にも要注意外来生物（ホテイアオイ）が繁殖している水路があることから、水位の変化に対応できる防止網等で流入防止対策を行った。 以上のとおり、本工事は、施工管理及び安全管理が特に優秀で、他の模範となるものである。

【施工状況等】

着手前（全景）



完成（全景）



品質管理の精度向上対策



レーザーセンサーによる深度管理

安全対策

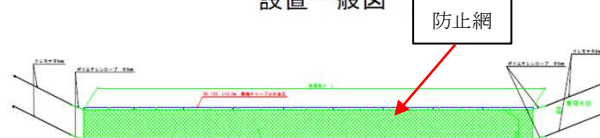


環境対策



工事着手時のホテイアオイの撤去状況

設置一般図



要注意外来生物に対して、水位変動に対応した防止網による流入防止対策